



福島放技ニュース

THE NEWS OF THE FUKUSHIMA ASSOCIATION OF RADIOLOGICAL TECHNOLOGISTS

2009

8月31日号

116
VOL.

発行所 社団法人 福島県放射線技師会

〒960-8003 福島市森合字蒲原16-7 TEL/FAX 024 (559) 1043

ホームページアドレス <http://fart.jp/>

巻頭言

総会資料を 再読してみよう



副会長 齋 藤 康 雄

今年の東北は梅雨明け宣言が出されないままだらりとぐずついた日が続いた。お盆過ぎ頃から何となく蒸し暑くなったかと思ったら、残暑と言われる時節になってしまい、秋の気配である。減り張りのない季節柄はこの頃当たり前のようになり、近年驚異の台風の本土上陸もめっきり減っている。迷走している社会情勢に追い打ちを掛けるような気候変動は、先の見えない不安を煽っているようにさえ感じる。

さて、そんな地球的な話はさておき、福島県放射線技師会は今年度の総会で鈴木新会長を中心とする新執行部が決まり活動を開始した。私は図らずも引き続き副会長の重責を担うことになったが、今までのことを考えると皆様の期待に応えられない力不足に、改めて叱咤しているところである。

新体制の下で第1回の理事会も開かれ、各委員会の具体的活動の合同打ち合わせも終わり、今年度の活動が動き出した。福島県放射線技師会総会資料をご覧いただいていると思うが、技師会の事業は5本の柱で成り立っている。大きく括れば、自分たちの資質の向上を図り、もって県民医療に貢献することである。その手段が委員会活動であり、分科会、部会活動である。具体的な講習会・研修会や啓発活動は、委員会や研究会の事業として、福島県放射線技師会のHPやニュース等で逐次お知らせしている通りである。委員会は、総会で選出された理事と各支部から推薦された委員が協力して行う組織運営活動で、分科会・部会活動は、会員の協力の基に組織された6分科会(治療、消化器、乳房、CR、MRI、CT)と放射線管理士部会が企画運営していて、それぞれのモダリティの、より専門的な知識・技術の習得に特化した研究会・研修会等である。いずれの活動にしても、当然のことながら会員の参加無くして成り立つものではない。県技師会活動のイベントは、日本放射線技師会の新教育制度とリンクしている。技師格や管理士の更新に、参加で実績ポイントを稼ぐのも一つの目的かも知れないが、各々の身近な研鑽の場として参加して貰いたい。

今更と言われそうだが、総会資料は福島県放射線技師会の方針と、遂行すべき事業の全てを示しているものである。もう一度読み直してみてもはどうだろうか。会の再認識と参加する意義が見いだせるはずである。

全国会長会議開催

日本放射線技師会全国会長会議が、去る8月22日(土)同会事務所で開催され、討議事項は下記の内容であった。

1.報告事項等

- (1) 会員動向ならびに会費納入状況について
- (2) 国のがん対策検診事業について
- (3) 第68回定期総会開催について
- (4) 第26回放射線技師総合学会について
- (5) 日放技各担当者からの実務の説明について
 - ①総務関係
 - 1) 会費納入関連
 - 2) 入退会関連
 - 3) 永年勤続表彰について
 - 4) 旅費について
 - 5) 総会代議員について
 - ②学術教育関係
 - 1) 生涯学習事業
 - 2) 認定事業
 - 3) その他
 - ③広報編集関係
 - 1) 会誌
 - 2) ニュース
 - 3) ホームページ
 - 4) その他

(会議資料等についてはホームページに掲載予定)

コースごとに分かれ実習が行われた。参加者には「修了証」が発行された。



- 1.日 時：平成21年9月26日(土) 10：00～16：30
- 2.会 場：福島県立医科大学附属病院
- 3.対象者：地域の被ばく医療に係わる医療関係者
(診療放射線技師等)
- 4.定 員：15名程度

※詳しくはホームページに掲載中

厚生労働省からの通知について

原子力防災訓練に係る職員の派遣について

平成21年12月22日(火)に実施予定の標記訓練に、福島県から8名の放射線技師の派遣要請が来ています。各支部2名の参加を支部長に依頼しました。
参加希望者は各支部長に申請下さい。

厚生労働省のHPに「医療情報システムの安全管理に関するガイドライン第4版」掲載される。

内容は医療機関における個人情報保護と情報セキュリティ対策が具体的に盛り込まれました。

平成21年7月25日、福島県立医科大学付属病院において福島県「緊急被ばく医療基礎講座Ⅰ(除染コース・搬送コース)」が開催された。除染コースは、医師、看護師、診療放射線技師、病院職員を対象として、また、搬送コースは、消防士、海上保安官、自衛官、警察官、自治体職員を対象として、午前の部は講義を中心に、午後の部は

平成21年度 放射線技師学会大会のご案内

県学会大会実行委員長 新里 昌一

今年も放射線技師学会大会を、11月1日(日)に県立福島医科大学大講堂において開催します。

恒例のランチョンセミナーは、今年も第一三共製薬との共催で弁当・飲み物付きで行う予定です。仮題「ダイマー型造影剤ビジパークを用いたカテーテル領域の診断と治療」の講演を、仙台厚生病院の井上直人先生にお願いしました。

今年も演題申し込みが、県ホームページから簡単に出来るようになりました。皆さんからの日頃の工夫や研究をまとめて発表してください。演題を大募集していますので、宜しくお願いします。

大会運営は、学術委員を中心に医大の多大な協力を含めた精鋭会員が準備を進めて行きます。実行委員長の勇み足等は多々ありますが、心より皆様多数のご参加をお待ち申し上げております。

なお、大会プログラムが皆様のお手元に届くのは、10月末を予定しています。

大会事務局

〒963-8558 福島県郡山市2-5-20

太田西ノ内病院放射線部内 実行委員長 新里昌一

tel 024(925)1188 (内線)31265

e-mail radio-tec@ohta-hp.or.jp

像でき、通常のFSE法に比べて低いフリップアングルを用いるためSARが低減されるので3T-MRIにとって大きなメリットとなるそうです。3つ目は、「当院の3D撮像」というテーマでフィルムディスカッションが行われ、各施設の撮像方法、問題点などについて討論が行われました。最後に、西ノ内病院のCT室(GE:64ch)の見学、および冠動脈CTにおける検査手技について説明していただきました。施設によって手技が異なり、参考になる事が多く勉強になりました。西ノ内病院の技師の皆さん、夜遅く(10時過ぎ)まで私たちにつきあってもらいありがとうございました。

(吉田)



浜 通 支 部

「第7回いわき地区画像研究会」

開催される

7月21日(火)、いわき保健センターにおいて第7回いわき地区画像研究会が開催されました。

いわき地区では、年3回の勉強会と新年会を行っており、3年目に突入しました。今回の内容は、1つ目に情報提供として、エーザイ(株)造影剤領域室 冬頭 孝一先生「非イオン性造影剤 イオメロンの最近の話題」について講演をして頂きました。

二つ目は、「電子カルテのオーダー発生から、検査終了まで(その1)」と題して、オーダーリングがすでに導

支 部 便 り

県 南 支 部

「第21回MRI技術研究会県南地区勉強会」

開催される

6月19日に太田西ノ内病院において、第21回MRI技術研究会県南地区勉強会が開催されました。

内容の1つ目は、GEよりMRの最新技術の紹介がありました。その中で興味深かったのは脂肪抑制技術であるIDEALです。IDEALは3つの異なるTEにより得られたデータを用いる3PointDixon法を利用した撮像法です。CHESS法による脂肪抑制で抑制不良になりやすい副鼻腔付近、頸部(特に肩付近)、金属による磁場不均一のある部位でもほぼ均一な脂肪抑制画像が得られるとのことでした。2つ目は、GEより「3Dシーケンスの撮像方法について」というテーマで、2Dと3Dの比較をしながら説明していただきました。GEの3D撮像法であるCubeは、VolumeデータでT2WIやPDWI、FLAIRが撮



入されている総合磐城共立病院と福島労災病院の2施設の比較を、総合磐城共立病院の折笠 秀樹氏と福島労災病院 三浦 智弘氏から、導入から現在にいたるまでの経過と、どのような運用方法されているか、また、問題点等の発表があった。平日にもかかわらず、43名の出席があり、質問も多数出て盛り上がりました。10月には、その2として、「検査終了後から、PACSそして、読影まで」を予定しております。

(折笠)

「平成21年度浜通り支部夏期学術研修会」

開催される

平成21年8月29日(土)14時より「浜通り支部夏期学術研修会」がいわき市総合福祉センターにおいて開催されました。当日は残暑厳しい中、また仕事でお疲れの中、北は相馬市、南はいわき市と南北に広い地域ながら多くの方々が集まったの研修会となりました。

今回の学術研修会は、以下の3題について講演が行われました。

①「マンモグラフィ CADの開発と評価」

コニカミノルタエムジー(株) 角森 昭教先生

②「当社のマンモグラフィ用CADの取組み ～FPD line upも含めて～」

GEヘルスケア・ジャパン(株) 菊池 亨先生

③「画像ネットワーク」

東芝メディカルシステムズ(株) 伊藤 祥啓先生

①、②はマンモグラフィ CADについてコニカミノルタエムジー、GEヘルスケア・ジャパンより最新のCADの状況、またCADをいかに使い診療の手助けとして役に立つかを簡単に統計の結果を交えてお話頂きました。③東芝メディカルシステムズの伊藤先生より画像ネットワークにおける留意点について厚生労働省から発表された最新の「医療情報システムの安全管理に関するガイドラン」の内容も含めた留意点について分かりやすくお話頂き、今後のネットワーク運用時にはどの病院でも起こりえる事故を想定した興味深い講演であった。

(村上)



県 北 支 部

「福島県画像研究発表勉強会」・「県北支部暑気払い」 開催される

平成21年8月29日(土)15時30分より「福島県画像研究発表勉強会」が福島テルサにおいて開催された。この勉強会は昨年まで行われていた「福島県医用デジタル通信技術研究会」を引き継ぐ形で県北支部が中心となり発足され、若手の方々に発表の機会を作りトレーニングの場としてもらうという趣旨で行われた。福島医大放射線部の佐佐烈技師長を座長・アドバイザーとして行われ、今回は県北4施設からの演題発表があった。

各発表後には、まとめ方のポイントや発表の仕方など多くのアドバイスがありこの機会を通し学会発表への意識が高まっていたようであった。

終了後には「県北支部暑気払い」が行われ和やかな雰囲気の中、各施設の意見交換が行われ大変に盛り上がっていた。

【演題発表】

演題1 「FAの変化が及ぼす画像コントラストへの影響と撮像プロトコルの検討」

済生会福島病院 星 大地さん

演題2 「当院における造影剤ショック時のマニュアルについて」

社会保険二本松病院 佐藤孝広さん

演題3 「MRI検査を安全に受けるために」

福島赤十字病院 渡邊純子さん

演題4 「当協会放射線課における業務経験」

(財)福島県保健衛生協会 嶋原幹直さん



編 集 後 記

今年は梅雨明けのないままもう9月です。暑くなったり、涼しくなったり忙しいお天気ですね。新型インフルエンザの動向も気になります。皆さん体調には十分ご注意ください。

ニュースの情報もお寄せください。

(本間)